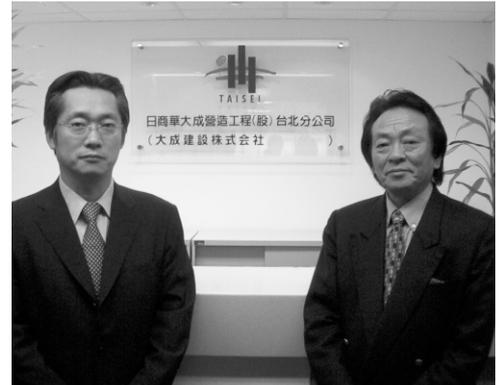


一世紀にわたる長い台湾との歴史と最新の技術

大成建設株式会社は台湾と1世紀以上にも渡る長い歴史を持っている。戦前戦後に渡り台湾のインフラを築き上げるために大きな貢献をしてきた。現在は高速鉄道や高雄市の地下鉄工事、また、大手銀行の電算センター（免振）等日本の最新技術を活かして台湾のインフラ形成に活躍している。更に、工業用地や設計・建築に関連する台湾での知識・ノウハウによって、日本の企業の台湾への工場進出にあたって、大きな貢献をされている。

今回は日商華大成營造工程(股)有限公司台北分公司の神田晴彦総経理にお話を伺った。



日商華大成營造工程(股)有限公司
台北分公司 総経理 神田晴彦氏(右)

御社の台北支店について簡単に概要をご説明願えますか？

弊社台北支店は1998年11月に開設され、台湾にて政府民間の様々な土木工事プロジェクト、建築工事プロジェクトなどを手がけています。従業員は現在、202名、内日本人は41名です。

御社の台湾での沿革をお聞かせ願えますか。

弊社は台湾では戦前から100年を超える長い間、台湾で土木・建設のお仕事をさせていただいてきました。戦前に弊社の創業者である大倉喜八郎が台湾に自ら乗り込み、大倉組（大成建設の前身）の台湾支店を設立しています。これが1895年のことで、当時の台湾殖産のために、多くの主要な建設工事に参画しました。代表的なものとしては、台湾銀行本店ビル、華南大灌漑計画、基隆～台北間鉄道縦貫鉄道、日月潭水力発電所、新亀山発電所、霧社発電所、高雄港第一埠頭などがあります。

その後、戦後、弊社は大倉組から大成建設に社名

を変更しましたが、台湾では東凌營造と言う現地法人の形で事業を行っておりました。その後、1998年に台湾において外国企業に營造業の免許が開放され、弊社は日本の総合建設業としては初めて營造業の免許を取得し、台北支店を開設しました。

しばらくは、それまでの東凌營造と台北支店の二つの拠点が並存する形でしたが、2002年にこの二つの拠点を一本化し、現在、台北支店と言う形で事業を行っております。

御社が台湾で手がけられたプロジェクトについてお聞かせ願えますか？

戦後の土木工事の実績としては、第二高速道路高屏溪斜張橋などの工事がありません。また、現在、高雄市の地下鉄を二区間、国道6号線の国姓トンネル、台湾電力興達火力発電所揚炭棧橋などの工事を手がけています。

また、建築関連では国泰人寿さんのお仕事、台北ウェスティンホテル、新光三越天母店、台南のリッ

日本企業から見た台湾

ツ・ランディス・ホテル、信義計画区 A-3 工区（高級ホテル）等、数多く手がけさせていただいております。また、皇翔建設の投資による信義計画区の超高級マンションを建設中であります。

この他、台湾高速鉄道の台中駅、左営駅、最近では彰化銀行電算センターを手がけました。

この彰化銀行電算センターは免震設計となっております。免震設計は現在、台湾ではまだ普及しておりませんが、今後、台湾でも普及が進むと思われます。その際には、私どものこの彰化銀行電算センターでの実績が必ず評価していただけると考えています。

台湾での工事は御社単独で施工されていますか？

必要に応じてローカルの企業さんと JV を組んでいます。例えば台湾高速鉄道の台中駅、左営駅等では、大陸工程や CTCL、TECO などの台湾の大手企業とジョイント・ベンチャーを形成して、共同で建設にあたっています。台湾の企業は技術やその他のノウハウ面で非常に優れた価値を持っており、その一方で、私どもはプロジェクトマネジメント、技術、品質管理の面で付加価値を持っております。

日系企業の工場などは如何でしょうか？

色々な企業様のお手伝いをさせていただきました。日本企業さんがこちらに進出するとすると、やはり、始めは右も左も分からない状態です。その中で私どもにお声をかけていただいた日本企業の皆様には各工業区のご紹介や工場建設基準・許可他、各種申請手続等に関するご説明から用地取得のためのお手伝いなどを行っています。また、それと同時に進められる各種会計税務方面での確認のためのご相談に対して、会計事務所などのご紹介も行っています。

更に、消防法等の設計に係る諸般の細かな法規なども我々は全て把握しておりますので、設計の際に大きな力になれると考えています。日本企業様

がこのあたりの基準をご自分で理解して全ての設計を行うというのは極めて難しく、そのせいもあって、日本企業さんの工場建設の形態は、設計・施工が殆ど全てと言えましょう。

台湾で特に他の国と比較して特別な点などありますか？

先の日系企業の工場進出のケースを除いても、台湾では施工だけではなく、設計からお仕事を頂くことが多くあります。これは台湾企業の施主の方々が日本に研究にいかれたりして、日本で弊社が設計施工した建物などをご覧頂いていることによります。このため、ファサードや免震設計などにも注意されており、この面でも私どもの設計能力を活かしております。

最後に御社の台湾での業務の基本姿勢のようなものをお聞かせください。

弊社が台湾で手がける範囲は幅広くバラエティに富んでいます。ボリュームがあり、技術的に難易度の高いものが弊社の活躍できる領域だと考えています。こういった案件をきっちりと受注して、マーケットに認知していただき、次の案件につなげる。これが私どものポリシーです。

本日はありがとうございました。

